

『一生懸命』 幻の議会報告第39弾！



たかむらともや

2008年の議会を振り返って

2008年 12月 30日 発行

順位	名前	発言回数	政党（会派）	市長選	
1	笠原 進	18	共産	保坂フミ子	●
2	高邑朋矢	16	語る会	田中幸弘	●
2	朝賀英義	16	共産	保坂フミ子	●
4	工藤 薫	14	共産	保坂フミ子	●
4	石島陽子	14(6)	共産	保坂フミ子	●
6	小鹿伸衛	13	共産	保坂フミ子	●
6	川上政則	13(7)	公明	須田健治	○
8	平松大佑	11(6)	刷新	中立	
9	森田輝雄	10(7)	自民	須田健治	○
10	細田 健	8	公明	須田健治	○
10	滝本恭雪	8	公明	須田健治	○
12	小野大輔	7	共産	保坂フミ子	●
12	柴崎 清	7	民主（刷新）	田中幸弘	
14	白井忠雄	6	公明	須田健治	○
14	北村由江	6	公明	須田健治	○
14	佐原範久	6	民主（刷新）	田中幸弘	
17	並木 傑	5	自民	須田健治	○
17	平野 茂	5	自民	須田健治	○
17	榎本賢治	5	自民	須田健治	○
17	小池秀夫	5	自民	須田健治	○
21	島田久仁代	4	刷新	須田健治	
22	中村容子	3	公明	須田健治	○
22	亀田博子	3	公明	須田健治	○
22	中村和平	3	民主（刷新）	田中幸弘	
25	嶋野加代	1	自民	須田健治	○
26	並木平八	0	自民	須田健治	○

2008年の3月議会から9月議会までの本会議での発言回数です。（ ）は委員長報告です。3回の定例議会なので石島議員の場合 14回のうち6回が委員長報告、3回が一般質問。それ以外の5回がその他の質疑や討論ということになります。○は市長与党。●は市長野党。 はよく分からない会派です。僕は市長野党ですが、全てに反対している訳ではありません。いくらなんでもおかしい！ そういう議案に「NO！」と言っているのです。（予算に反対しているのは●だけです。）7月の市長選でそれぞれの議員が応援した候補も書いてみました。ちょっと複雑ですね。発言回数より内容が問題ですが、発言しなければ内容はゼロ。僕らの仕事はまず発言することだと思います。2008年、アメリカ発の不況で庶民は大ピンチ。これが小泉改革の正体です。アメリカの「年次改革要望書」に忠実な自公政権がこの国の格差を作り出しているのです。この仕組みを変えるには、選挙に行くしかありません。

意見書

語る会はこの12月議会で「定額給付金の白紙撤回を求める意見書」を提出しましたが、自民・公明両党の反対で12対13で否決されました。2兆円のお金は税金です。全国民にばら撒く暇があったら「100年に一度の大不況」に対応して緊急雇用対策に使うのがまず第一でしょう。家計が苦しい今、一人当たり12000円のお金は確かにありがたいですが、一時的に貰って喜んでいると、大增税が待っています。生活が更に苦しくなるのです。菅直人ではないけれど、「毒饅頭」に騙されてはいけません。定額給付金はその場限りの世紀の大愚策なのです。2兆円は「産婦人科医不足」「小児科医不足」「救急医療」「年金」問題などにも有効的に使えるのですから。

駐車場

今新座市では「財政難」ということを理由に埼玉県職員の市内小中学校の先生達から毎月1500円の駐車料金を徴収しています。ところが我々議員からは一銭も取っていません。我々議員の駐車場は地下の屋根付きの駐車場です。地下の駐車場はお年寄りやしょうや者の為に使い、市の職員である我々からは駐車料金を徴収するように訴えましたが、市長の答弁は「近隣市の状況を見ましても、みなそういう風にしてあります。」という寂しいものでした。

実は、我々議員には「費用弁償」という交通費(税金)がでています。例えば、埼玉県議会の場合、現行では居住地が招集地(さいたま市)は一日(一月ではありません)1万1700円。招集地から50キロ未満は1万3800円という途方もない金額が支払われているのです。流石にこれは貰い過ぎだろうと改正されるようですが、改正後でも議会に行くだけで10キロ未満は一日6000円、10~50キロは8100円というから酷い話です。我々新座市議会では一日1000円という「費用弁償」が支払われています。それでも議会に15日行けば15000円ですから、ガソリン代と駐車料金くらいは楽に払える計算になるのです。



12月議会の一般質問ではトップバッターでした。犬山市の副教本を手に質問しました。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、朝日新聞の「今学校で！」を読み、教師になることを決意する。1977年から五中・六中・二中で授業(理科・国語・英語・数学・体育)にクラスに、そしてテニスに燃えた21年間を過ごし退職。2000年2月、市議会議員選挙に9768円で戦い975票で落選。2004年2月の選挙でも、お金をかけずに戦い1272票で初当選。2008年も同様に、1433票で当選。2期目に入る。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。また議会を離れたところでは「新座の寺子屋たかやん塾」で小中学生・高校生と共に歩んでいる。石神・片山小と六中では障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」のメンバーとして活動。黒目川川づくり懇談会」に「いざ教育委員会」代表。石神3丁目在住。母と妻子の4人家族。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・読書・音楽・川掃除。クルム伊達公子・小野伸二・藤沢秀行・羽生善治・倉本聡・水谷豊のファン。

詳しくは **たかやんの応援団** で **検索**

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869
携帯 090-6497-5737

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106